

FAX 送信のご案内

発信日 5月26日(水)

本紙共 4 枚

発信先 会員各位

発信元 熊本東南ロータリークラブ
会長 松本一也
幹事 福井 学

〒860-0846
熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL 096-354-4521
FAX 096-354-4053
EMAIL serc@serc2720.org

Rotary
Club of Kumamoto
Southeast



2021年5月26日「会長の時間」および「幹事報告」

梅雨の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

5月26日の「会長の時間」と「幹事報告」をお送りさせていただきます。

会長の時間

令和3年 5月26日

松本 一也

つぶやき

私は、仕事でよく車を運転します。運転しながら色々な事を、ああでもない、こうでもないと考えることが多いです。そうやって考えていて、近頃気になるのが、救急車のサイレンの音が聞こえにくいということです。サイレンの音が聞こえたなと思ったら、救急車がすぐ近くまで来ていて慌てることがあります。

つまり、サイレンの音が小さい様に思えるのです。人から聞いた話ですが、アメリカの救急車はけたたましいサイレンの音で、遠くからもよく聞こえ、車体の色やデザインも派手でとても目立つそうです。

そこで、日本の緊急自動車のサイレンについて、調べてみました。

緊急自動車のサイレンの音量については、1951年（昭和26年）に道路交通法で定められて以来、現在まで変わっていないそうです。それは、緊急車両の前方20メートルの位置で、音量が90～120デシベルであることを定めています。68年も前に定められており、見直しもされておらず、現在の状況に適しているのでしょうか？ 68年も前の車と現在の車では大きく変化しています。まず、車体の気密性が全然違います、昔の車は窓の隙間や、ドアの隙間から風が吹き込んでいましたが、今の車は気密性に優れ、時々空気を入れ替えないと息が詰まるような気さえします。また昔は、ラジオやカーステレオもついておらず、

ましてやエアコンなどはありません、特に夏は窓を全開にして走っていました。今は、窓を閉めてエアコンを効かせ、かなりの音量で音楽を聴いています、これではサイレンの音は聞こえづらくなります。

音の大きさをデシベルの単位で表し、音で例えると、90デシベルは（店内中央のカラオケ音、パチンコ店内、犬の鳴き声）、100デシベルは（電車通過時のガード下、地下鉄の構内）、110デシベルは（直近の車のクラクション）、120デシベルは（ジェットエンジンの近くの騒音、直近の落雷の音）に例えられています。

このような例を見てみると、120デシベルもあればさうとう遠くまで聞こえそうに思えますが、実際の救急車のサイレンの音量は95～96デシベルが主流だそうです。これでは、現代の車に乗っていれば聞き取りにくいのは、当然のように思えます。もっと、音量を上げるようにしたらどうでしょうか。もし、住宅地ではうるさいのならそこだけ音量を落とし、交通量の多い道路では音量を大きくするにしたらいいと思います。

さて、救急車等の緊急車両とすれ違った瞬間に音が変わって聞こえることがありますね、これはドップラー効果という現象だと聞いたことがあると思います。音源（救急車）からの音波が我々に届く時に、救急車が近づいて来る速度の分だけ、波長が圧縮されて短くなり音が高く聞こえます。逆に、遠ざかる時は遠ざかる速度の分だけ、波長が引き延ばされ音が低く聞こえます。緊急車両とすれ違うときに、聴いてみてください。

令和3年5月26日

■ 幹事報告 ■

幹事 福井 学

■ 来信案内

1)
熊本'05福祉RCより、創立15周年記念誌の送付。

2)
硯川昭一 ガバナー、開克行 青少年奉仕部門長、中山諭扶哉 青少年奉仕ローターアクト委員長、宮ノ原直樹 地区ローターアクト代表兼地区社会奉仕委員長より、ロータリー家族清掃中止の案内。

「6月6日(日)のロータリー家族清掃が、新型コロナウイルスの感染拡大が熊本、大分両県で歯止めがきかないことを考慮いたしまして、大変遺憾ではありますが、今年度も中止とさせて頂くことが決定いたしました。」

3)
認定特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・熊本 事務局より、ニュースレター「らぼーる」、新リーフレット、2020年度活動報告の送付。

4)
光明童園より、「ひかりっ子新聞」の送付。

5) 今後の行事

開催日		行事名	場所	会場	出席者
2021年	6月26日(土)	「1年の感謝の夕べ」及び引き継ぎ式	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル	クラブ会長、地区委員長